

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいりすキッズ		
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2024年11月21日		～ 2024年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2024年12月9日		～ 2024年12月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当社の訪問看護ステーション担当者が、その児童の支援員として訪問することで、家庭内での運動機能・発達面の評価・環境面、訪問先での様子と環境面を含め、総合的に支援することを重要視しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の機能面・能力面の評価を適宜ご家族と共有し、自宅で行えるメニューは適宜ご案内しています。 ・訪問先での様子・困りごとは、適宜情報収集をしています。 ・訪問先へ訪問後は、記録を作成し、ご家族様と訪問先へ提供し、情報共有をしています。 ・当事業所は基本的に単独担当者となるため、定期的にスタッフで情報共有(困りごと・介入内容)をしています。 	・定期的にスタッフで情報共有(困りごと・介入内容・今後へ向けて)をしていきます。
2	当事業所は、専門職(理学療法士・言語聴覚士・看護師)が支援員として訪問することで、それぞれの介入目的に応じた専門的視点で支援しています。	・定期的な報告会を実施し、多職種でのケースカンファを行い、支援内容の方向性を共有している。	・当社の訪問看護ステーションの専門職スタッフとご自宅・訪問先での様子・問題点をそれぞれ共有し、本人と本人を取り巻く環境を支援していく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援員の経験の差による、支援内容・満足度の差は出るかもしれない。		・定期的にスタッフで情報共有(困りごと・介入内容・今後へ向けて)をしていきます。
2	基本的に支援員それぞれが単独訪問であり、支援員それぞれに任せている。視点が狭い可能性があるかもしれない。		・当社の訪問看護ステーションの専門職スタッフとご自宅・訪問先での様子・問題点をそれぞれ共有し、本人と本人を取り巻く環境を支援していく
3			